

1次元の入力を1次元の出力に変換する小脳モデルを前に示しました。入力値から出力値情報を持っている神経細胞のコラムのアドレスを求めて、標準値を与えてこのコラムを発火するというものでした。

これをn次元入力ベクトル値からm次元出力値ベクトルを得る方法に拡張しましょう。要は、n次元マップを作って、その入力値の点を得て、その点にあるコラムを発火させ、ここは1次元になりますから、その値をm個の神経繊維に分岐して、その分岐の先々に1次元の小脳モデルを当てはめれば良いのです。

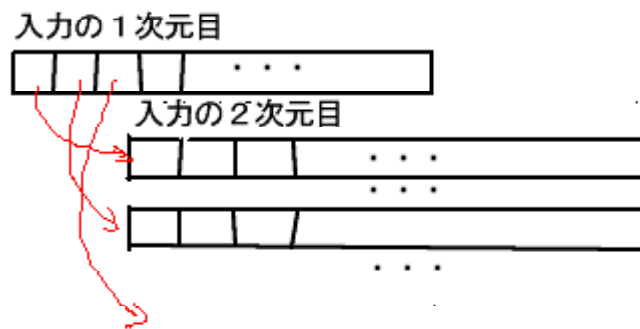


図 n次元マトリクス構造

おわり